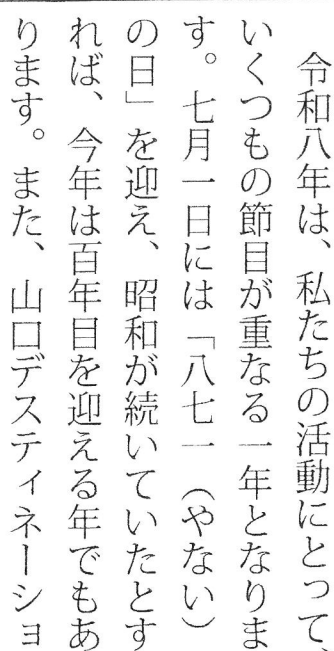




こうした中で、改めて会員の皆さまと共有しておきたいのが、弘前の皆さまとの交流についてです。このご縁の出发点は、当会が設立四十周年という節目を迎えた二〇一九年にあります。

RISE⁸⁷¹

四十年来にわたり守り、続けてきた歩みが、一つの区切りとなり、次のご縁を呼び込み、弘前という遠く離れた地との交流へとつながりました。これは、私たちの活動の積み重ねが、地域を越えて共感を生んだ証であり、誠に意義深い出来事であったと感じ

ています。

本年は、金魚ちようちん祭りが第三十五回大会という節目を迎えます。そしてその夏には、弘前の皆さまを柳井にお迎えし、本物の弘前ねぶたを、地元柳井の皆さまにご覧いただける機会が実現出来たらと考えています。白壁の町並みを背景に、弘前ねぶたが金魚ちようちんねぶたとともに麗都路通りから柳井駅前を練り歩く、その力強い姿が重なる光景は、柳井の歴史に残るものとなるでしょう。そしてそれは、私たちにとって新たなスタートでもあるのです。

白壁の町並みは、決して特別な誰が
 を守るものではありません。会員の皆
 さま一人ひとりの思いと行動が、この
 町の風景を支えています。本年も無理
 をせず、等身大の歩みを大切にしまし
 ら、白壁の町並みを次の世代へと繋い
 で参りましょう。

皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

「年末夜回り二日間」

十二月二十八日、二十九日に毎年恒例の年末夜回りが実施されました。

第二十七回目となる今回は、ボランティアの中学生が両日で二十二名、高校生三名が参加してくれました。

中でも高校生は四回目の参加でした。

金魚ちょうちんの支度も手慣れていて、夜回りの金屋・古市コースをとどこどころ覚えていた子もいました。

そんな子

どもたち、

掛け声の

「マッチー

本火事の

元」「ガス

コンロの消

し忘れ火

の用心」の

マッチもガ



一日目出陣式



二日目出陣式

スコンロも馴染みのない世代で、「モバイルバッテリー発火」など新しい標語が出てきたりして、時代だなあ と思いました。

一九九九年から続くこの伝統行事に、保育園から参加しているという地域の男性や中学生にもお話が聞けました。

初年度から、詳細を丁寧に記録されたノートを見ると、過去の年末夜回りの盛況ぶりが伺えます。近年は段々と参加者も少なくなってきたようです。貴重なノ

トに名前を記し

ながら、この年

末夜回りが地域

の大切な行事と

して長く続いて



ほしいなと思いました。

心地よい寒

さの中に響く

拍子木の音、

灯りを灯した

金魚ちょうち

ん、頭上の星

を見てみると、無事にこうして白壁通りの夜回りができることに感謝の気持ち湧いてきます。そんな思いを噛み締めながら、子どもさんや地域の方と防犯防火を呼びかけ歩きました。

歩く途中で、白壁通りに隠された

数々の謎、火伏地藏さん、木の電信柱、

そんな小ネタを聞くのも実は楽しみの一つです。

こうして年末夜回り二日間は無事終わりました。本年も白壁通りの防犯防火をお願いながら、早々と次の年末夜回りを心待ちにしている私です。

新店紹介

レニーテイル

柳井祭りの日にプレオープン、12月3日に『木と灯のアトリエ レニーテイル』をスタートいたしました。よろしく願いたします。

伝統的建造物群保存地区の古民家の改修はアンティーク好きの私ですが、あまりにも古いこの家が使えようになるのか半信半疑で「ここで何をするの？」と問われても答えることは出来ませんでした。

以前から古民家の改修が私の仕事の8割が完成と思っていましたので思い切つて進み、今こうして形にな



りました。残りの2割は楽しむだけです。

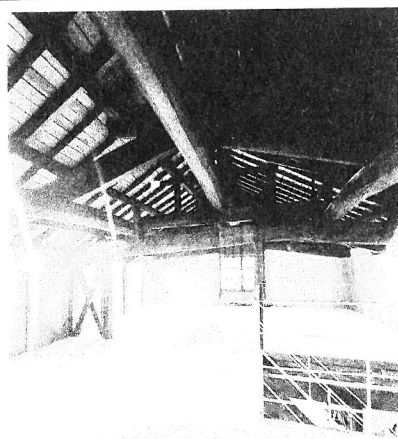
レニーテイルは看板娘のトナカイのレニーの名前です。レニーの物語とレニーのしっぽという二つの意味があります。私とレニーの出会いも忘れられない物語があるのですよ。

レニーの周りは海外で出会ったアンティークの動物たち、自作の木彫りのマリオネットや物語から抜け出した子供たち、家族が使っていた思

い出の家具に囲まれ、シャンデリア、ステンドグラス、キャンドルの灯。木と灯に包まれたささやかなアトリエです。木彫り、ステンドグラス、水墨画、アンティーク、アート。好きに囲まれて制作を行い日常から少し離れた時間をお届け出来ればと思っております。小さなセレクトショップも併設しております。

2階は『ギャラリー余白』が期間限定でご利用いただけます。1階の混沌の美を目指しているのに対して梁だけがある静の空間です。どうぞお気軽にお立寄りください。

※オープン日は金・土・日曜日と平日にボタニカルキャンドルワークショップを予定しております。色と花と香りを選んで制作していただきます。詳細はインスタグラムと店頭にて。



レニーテイル2階スペース

店名 住所 店休日
レニーテイル 柳井市柳井津 447
不定休

柳井の地図絵図

岸田稔明

第四十八回 一万分一柳井町都市計画図
(昭和二十七年調査) その三 (柳井市蔵)

前々回から、柳井市都市計画課に保存されている「柳井町都市計画図」を取り上げているが、今回は柳井駅東側や南側に焦点を当てる。

第三十七回において紹介した国土地理院蔵の昭和二(一九二七)年測図「陸地測量部二万五千分一地形図」(右下に一部を掲載)と、今回取り上げた柳井町都市計画図を比べると、現在のレトロ市民交流広場から東に向かつて新しい道路が出来ていることが分かる。現在は柳井郵便局の横を通っており、石油製品を売る店が多かったことから「油屋町通り」と呼ばれていた時期もある。

これは、開通当時「産業道路」と呼ばれていた道路である。戦前に、平生町との境界にある田布路木峠から一直線に線路を横断し、柳井

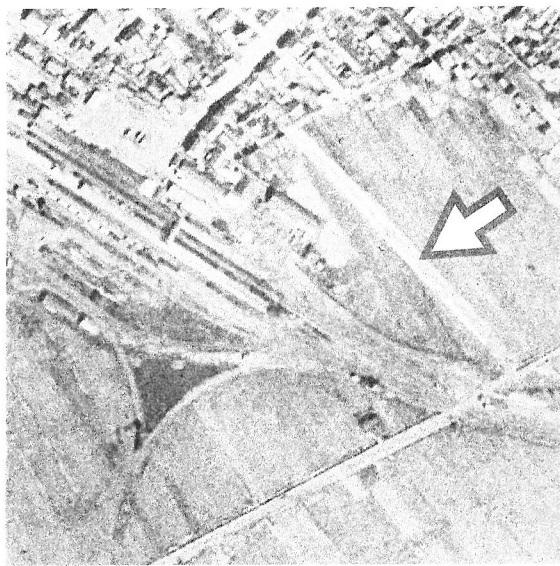


駅前(レトロ市民交流広場、当時は警察署)に通じる

道路が計画された。戦争の影響で数年放置されていた時期があったが、昭和二十四(一九四九)年九月に全線開通した。

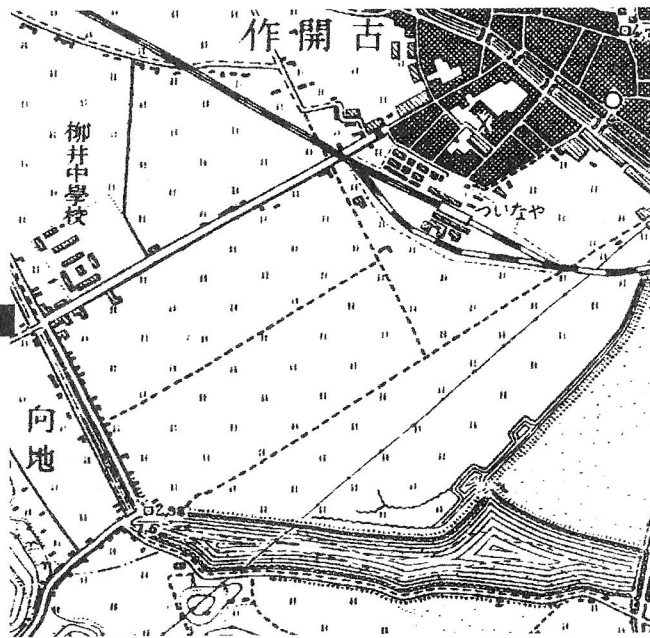
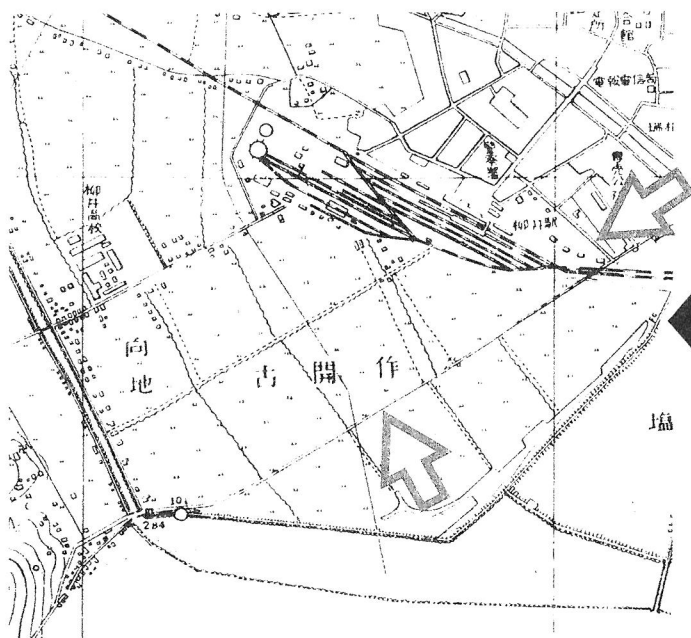
それまでの主要道は、田布路木橋から土穂石川沿い、橋本橋、旧制柳井中学校(現柳井高校)前、中塚、宝来橋を経由しており、府県道柳井平生線に指定されていた。産業道路の予定地は地図上では破線となっており、幅の狭いあぜ道であったが、開通をきっかけに、主要道の経路が大きく変わった。

産業道路の一部区間は、昭和二十八(一九五三)年に二級国道徳山岩国線に、昭和四十(一九六五)年に一般国道一八八号に指定され、現在でも大型店の建ち並ぶ幹線道路として機能している。



昭和22(1947)年米軍撮影航空写真(国土地理院蔵)※矢印先端部分が建設中の産業道路

【左下…柳井市都市計画図(昭和二十七年(一九五二年)現地調査、柳井市蔵)、右下…陸地測量部二万五千分一地形図「柳井」(昭和二(一九二七)年測図、国土地理院蔵)】



商都柳井の歴史その廿九

松島 幸夫

引き札1

しらかべ学遊館には、「引き札」が展示してあります。館の奥に入っていくと左手に学習室があり、そこに十六枚が掲げられています。現在ではテレビなどで動画を使って商品や企業の宣伝をしますが、江戸時代や明治時代には広告チラシを配布していました。その広告チラシが「引き札」です。お盆と年末にお得意様に配布していました。印刷費用がかかりますから、現在のように不特定多数に配布するのではなく、今後も当店を利用してくだるお客だけに届けました。「御愛顧ありがとうございます」との意味を込めた挨拶状と言えるでしょう。

多くの引き札が印刷され配布されましたが、その中から学遊館に保存されている十六枚の引き札を、今後5回にわたって紹介します。初回にあたっては、回



たつては、回船業を営んでいた店舗について紹介しましょう。

① 益野新助店

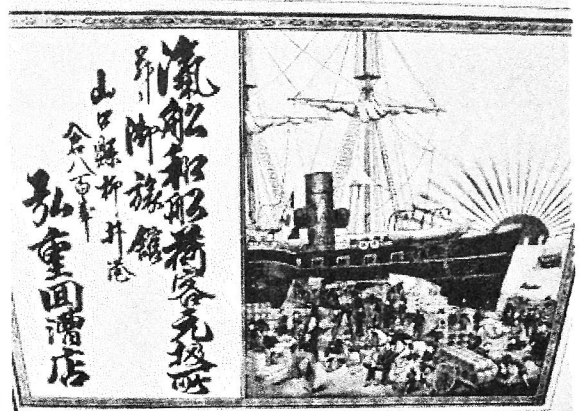
屋号を「登茂新」といい、柳井港から岩国、宮島、広島、尾道、大阪へ向けて出船し、依頼された積み荷を届けるとともに、様々な商品を買込んでいる。つまり問屋業も営んでいました。注文に応じて全ての商品を扱いました。たから「萬(よろず)問屋」です。さて船の図柄は大きく帆船を描いており、遠くに蒸気船を小さく描いています。和船と汽船の両方を所持していたので、古くからの回船業者であることを誇示したかったと察せられます。初日の出を描いて元旦風景を想定した絵です。この引き札は、年末に配布された引き札です。

② 苦井支店

汽船と和船の絵が描かれています。大阪、広島、尾道、岩国と結び、積み荷だけでなく乗客も運ぶと書いてあります。この店も萬問屋と表示しています。ここにも初日が描かれています。

③ 弘重回漕店

「倉八百」が屋号であり、店の蔵には多くの商品を格納しており、どんな注文にも応じることができると屋号でもって誇示しています。汽船が大きく描かれ、遠くに和船が小さく描かれています。文字には、汽船と和船の表示があり、積荷も乗客も扱うと書かれています。旅館も経営しており、多角経営をしていたことが分かります。絵を見ると、港には馬車や大八車で多くの積み荷が集まっています。



資料館便り

『二年で百十九人が訪れた、

お鐘金魚へのお礼参り』

山近絹代



柳井市町並み資料館の「お鐘金魚」この金魚に願いをかけ、叶ったあとに「ありがとう」とお礼参りに来てくださる方が、毎年いらっしゃいます。近年は、一年に四十〜五十人ほどでしたが、令和七年は少し様子が違いました。お礼参りの人数は、なんと百十九人。私たちも驚きながら、その一人ひとりの思いに、胸があたたかくなりました。百人目のお礼参りの方をお迎えした



写真に残ったその光景は、今も大切な思い出です。

最近では、YouTubeなどのSNSで資料館や私たちの案内を知り、「会いに来ました」と訪ねてくださる方も増えています。お鐘金魚をきっかけに生まれたご縁が、今日も静かに広がっています。

そして、この原稿を考えている最中に、令和八年お一人目のお礼参りが！素敵なご縁は、2026年も広がる予感。

日は、ささやかではありますが、くす玉を用意し、「おめでとう！」の声とともにお祝いしました。皿田事務局長提供の記念品をお渡しし、その場に居合わせた方と、笑顔の時間を分かち合いました。

【編集後記】

★来年の金魚ちょうちん祭り35回大会において、金魚ちょうちんと共に弘前ねぶたが麗都路通りを練り歩く姿が見られるかもと木阪会長が予告。是非とも実現していただきたいものだ。柳井市、弘前市ともにガンバ！

★古民家を活用した新たなスポットが白壁通りに出現。改装された古民家を舞台に海外で集められた人形、手作り人形、骨董品などが所せましと並んだ不思議な空間。日常から少し離れた時間を過ごしてほしいとか。これまでの白壁通りにはなかったヨーロッパの香り漂う時空の出現です。早速訪ねてみましょう。

★町並み資料館内に設置されているお鐘金魚が評判です。ここでの願かけが叶ったとしてお礼参りに来られた方が昨年119名に達した。一度訪ねたら再訪することの少ない旅が多い中で再度来ていただける魅力ある真に有難い金魚ちゃんなのだ。皆さん、願かけに是非一度は行くべしですぞ。

(事務局 皿田)

令和7年度第3四半期 柳井市町並み資料館入館者数

	令和7年/10月~12月	令和7年12月現在累計
町並み資料館	3,720	345,932
	前年同期比 94.9%	
松島詩子記念館	898	119,483
	前年同期比 129.3%	